

始めに

12月より、冬休みになりました。アメリカ人学生たちはクリスマス前にそれぞれのホームタウンに、留学生の多くは母国に帰省しました。12月の下旬にはシャンペーンはサンクスギビングの時と同じように、ゴースタウンのようになってしまいました。自分は前々から計画していたワシントン&ニューヨークへの旅行および、友達に会う計画を実行に移すことにしました。旅行期間は12月29日から1月12日の2週間でした。

初めてのアメリカ国内の一人旅行であり、出発前はどうなることやらと思ってシャンペーンを出発しました。今回の報告書では、自分が感じた街の様子を報告しているので、観光スポットなどはガイドブックやインターネットで調べてください。

ワシントンDC

アメリカ合衆国の首都であり、アメリカの官庁公社が多く存在する都市です。観光スポットなどについてはガイドブックを見てもらえば分かると思うので、ここでは私が感じた都市の感想などを述べたいと思います。

この街に12月29日から1月4日まで、3年前に金沢工業大学にサマープログラムで訪れていたロチェスター工科大学（RIT）のZacの家に滞在させてもらいました。現在彼はRITの4年生で、現在はインターンシップのため、ワシントンDCの郊外に住んでいます。

まず、日本人が一番気になるのは治安についてですが、ホワイトハウスやキャピトル・ヒル（アメリカの国会議事堂）があるだけあって、警備が厳重で、治安は非常に良いと感じました。実際にDCの繁華街（18.St. = 1 kmほど、バーやレストランが連なっている）で、正月を迎えたのですが、朝の4時までどの店も営業するほど、しっかりした治安でした。（ちなみに、イリノイ州は午前2時ですべての店が閉まる）交通手段である、地下鉄やバスも日本人が想像しているような感じではなく、クリーンで24時間運行しているのが非常に便利でした。（料金は、バスが\$1~2、地下鉄が\$2~4ぐらいでした。料金が均一でないのがちょっとマイナスポイント）

街並みについては、ボストンと同じように歴史を感じさせる街並みです。建物の多くはヨーロッパ調で建てられており、郊外のほうは曲がりくねった道も多く、さらに道幅が他の州に比べて狭く、朝夕の通勤ラッシュ時には大渋滞を起こしています。しかしシカゴやニューヨークと違い、背の高い建物が存在しないため、街としての景観が損なわれていないので、全体的には整った街並みだと感じました。さらに、ホワイトハウス、キャピトル・ヒルやスミソニアン博物館があるモールと呼ばれる地区は、その辺り一帯が大きな公園となっているような感じで、朝からジョギングをする人、公園内でフットボールをする若者、何をするわけでもなくベンチに座ってぼんやりしている人など多くの人がこの地区を利用しています。この辺りの朝が非常に爽快であり、コーヒーを飲みながらぼんやりするのが気持ちよかったです。

感想として、6日間も滞在できたおかげで、多くのミュージアムに時間をかけて回れたことが非常によかったです。また、ガイドブックには乗っていないような所へ行くことができたことが他の人よりも得をしたなという気分です。さらに、3年ぶりに友達に会えたこと、ジョージワシントン大学の友達も出来たことが非常によかったです。今度は、ワシントンには桜の名所があり、川沿いに多くの桜の木が植えられているので（日本からの寄贈）桜の花が満開になるころにもう一度訪れることが出来たらいいなと思います。

ニューヨーク

アメリカ最大で世界最大規模の都市・ニューヨーク。1月4日にワシントンDCから電車で移動し、1月4日から1月12日まで、ユースホステルに滞在しました。ユースホステルとは、宿泊費が1泊\$12~20ぐらいで泊まれるのですが、個室ではなく共同部屋で見ず知らずの人たちと滞在するという形式です。私が滞在した部屋は、10人部屋でイングランド・インド・アフリカなどから来ている人たちでした。当然日本からも来ているグループもいました。また、ユースホステルは安く泊まれるだけでなく、色々なツアーやイベントなども行っており、個人では行きにくい危険な場所（BronxやHarlem）などのツアーに参加して訪れることが出来ました。

今回は、ニューヨーカーの気分になってみようと思い、レンタルサイクルを借りて街中の行動しようと思いました。しかし、あいにく滞在中の天候が悪く、さらに1日目に借りたのですが、交通量が多く、ニューヨーカーの運転は非常に荒いので危険だと感じ、自転車での行動を断念することにしました。先述したように交通量が非常に多く、地下鉄やバスの路線網も整備されているのでそちらを利用するのが効率的です。乗車券も21ドル払えば1週間のフリーパスチケットを入手することが出来るので、それらを買って行動すると非常に便利だと思います。

治安についてですが、街中を歩いても大体パトロール中の警官を見かけます。繁華街であればおそらく夜であっても狙われることはないでしょう。私も夜に色々と歩き回りましたが、それほど危険だと感じることはありませんでした。（ただ、物乞いの黒人にたかられると思います）地下鉄駅構内も24時間開いており、改札口には駅員がいるので安全だと思います。ただ、夜の12時以降は歩き回ったり、地下鉄での移動は避けた方が懸命だと思います。タクシーを使った方が懸命だと思います。

街並みは、それぞれの地区によって大きなビルが立ち並ぶ高層ビル群や、ヨーロッパ調の感じが残る街並み。また、多くの自然が残っている地区など様々な面を持った街だと感じました。日によって異なった地区を訪れては多民族国家で世界都市だということを改めて痛感しました。

この旅を振り返ってみて

今回の旅では色々なトラブルも経験しました。例えば、行きの航空券が会社の不手際で確保されず、会社に電話をかけて交渉したことや、帰りの飛行機が悪天候のためフライトキャンセルとなり、その後の色々な手続きなどを自分自身で解決できたところにも自分の英語力も改善されたのかなと感じられました。

アメリカの一人旅をいつかはしてみたいと思っていたので、非常に有意義な2週間でした。特にユースホステルに滞在したニューヨークでの1週間は多くの人に会うことができ、様々なことを得ることが出来たと思います。このような贅沢なことをさせてくれた両親に感謝したいと思います。

